事例No.	2123
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	北海道中川町

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT ・関係人口

事例種類	文化・スポーツ

事例内容・タイトル

展示標本の３Dモデリングや博物館の360度撮影により、VRミュージアムを開設

出典

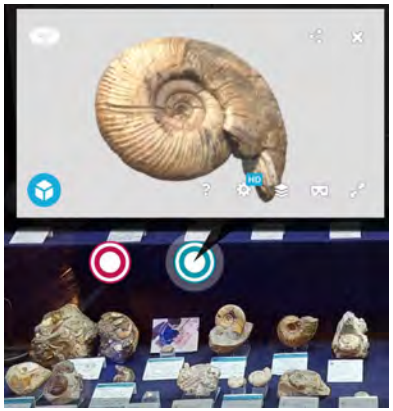
地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

143 展示標本の3Dモデリングや博物館の360度撮影により、VRミュージアムを開設【北海道中川町】

事業の概要

○ 廃校になった佐久中学校を全面改装した中川町エコミュージアムセンターの360度撮影及び展示標本の３Dモデリングを行い、Web上に「VRミュージアム」を令和2年3月から開設した。

○ VRミュージアムでは、普段立ち入ることのできないエリアにも入ることができ、恐竜骨格の真下からの観察も可能である。展示ケース内のアンモナイトなどの３Dモデリングされた化石標本は上下左右と通常の展示では見ることができない角度から観察できる。



○ バーチャル社会見学、調べ学習などGIGAスクールの学習での活用のほか、宿泊・研修棟も見学できるため、体験研修を検討される際の下見にも活用される。

【参考情報①】 人口：0.1万人
関連URL：https://city.hokkai.or.jp/~kubinaga/

【参考情報②】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、博物館の臨時休館、出前講座や体験事業の中止など、人の移動を伴う事業が困難となり、中川町と都市部との教育交流も実施できなくなりました。そこで、オンラインでの博物館見学、アフターコロナに向けた中川町への来訪意欲の増進、GIGAスクールに対応した学習コンテンツの構築のため、エコミュージアムセンターのVRミュージアムに加え、展示標本をさまざまな方向から観察できるように３Dモデリングを行いました。


（中川町）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

令和2年度に、内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の「地域の魅力磨き上げ事業」を活用しました。





事業の近況を教えてください。

令和３年以降、毎年数点ずつ展示標本の３Dモデリングを進め、VRミュージアムの充実を図っています。「中川エコミュージアム」は、町全体を博物館とみなして地域づくりを進めていく構想で、化石の発見される地層の360度撮影など博物館内のみならず地域全体をWeb上にアーカイブする「VR中川エコミュージアム」を進めています。



★担当：中川町エコミュージアムセンター★

令和3年度事業費　296千円